

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		高齢者はつらつトレーニング				所管	福祉部 介護予防・地域支援課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	175	計画事業名	介護予防の推進		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり					[事業開始] 平成19年度			
		[小 柱] (4)高齢者の地域での包括的な支援の仕組みづくり					[終了予定] - 年度			
		[施 策] ②介護予防・生活支援サービスの充実								
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	介護保険法					
	事業対象	直接の対象 : 区内在住の高齢者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	高齢者へ介護予防に資する教室を提供することで、介護予防に関する基本的な知識や習慣を定着化し、自主的な介護予防活動を推進する。								
事業内容 [29年度]	①マシンを使用したトレーニング教室 (1)区民館(区内7か所) 定員6~10名 2クール(1クール10回) (2)千束健康増進センター 定員12名 8クール(1クール10回) (3)老人福祉センター 定員10名 6クール(1クール10回) フォローアップ講習会 51回 ②脳活性化教室(老人福祉センターで実施)(1)読書き計算教室 全20回 2教室 (2)面白脳トレ教室 全10回 8教室									
委託の有無	一部委託		委託内容	運動指導業務、教室運営						
補助金の有無	国・都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	トレーニング教室開催数		クール	28	32	32	28	28	100.0%
		脳活性化教室開催数		教室	10	10	10	10	10	100.0%
	成果指標	トレーニング教室参加者数		人	266	296	301	250	266	94.0%
		脳活性化教室参加者数		人	220	205	227	207	220	94.1%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				7,906		7,935		7,610
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				6,020		3,567		3,352
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				7,906		7,936		7,610
		総経費				0		0		0
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				13,926		11,503		10,962	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				253		258		0	
	一般財源(区負担額)				6,696		6,718		6,659	
前回評価から29年度に改善した事項	トレーニングマシンを使用した教室について、類似していた事業を統合し、各教室の実施日数など内容を統一した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	今後、後期高齢者が増加していくことが予想される中、要介護状態にならないように元気なうちから介護予防活動を行うことは重要である。							
	効率性	3	トレーニングマシンを使用した既存の類似事業と統合して実施することで、効率化につながった。							
	手段の適切性	3	教室運営の委託先をそれぞれの施設の管理運営事業者に併せて委託することにより、教室参加者が終了後も継続して自主的に利用しやすいよう配慮している。							
目的達成度	3	トレーニング教室、脳活性化教室のいずれも参加率が高く介護予防活動へのきっかけや自主的な取り組みにつながっている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
平成29年度からトレーニングマシンを使用した教室事業を統合し、教室内容の見直しを行った。自主的な介護予防活動を支援するための事業として引き続き実施し、教室開催中に他の介護予防事業を周知するなど連携を図っていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		